常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用1210
編集部1269

責任保証
家庭用自家水道
ポンプ配管施工
岡田商会
平市三十米大通り 電一一八四

市営バス再び動き出す
四市委員 先進都市の視察へ

諸橋市政の公約としてうかび出た「市営バス」の運行計画は、その後五市の首脳会談から五市共同の「公営バス」として運行しようという処までトントン拍手に進んだと思つていたら、その後持ち上つた総合グラウンド建設問題とからみあつて「平市は市営バスを有利にするためグラウンドは他の四市に譲つた」などの風評を残したまま全く鳴りを秘そめてしまつていたが、最近再び活発な動きをみせ始めた。このため平市を除く四市のバス委員らは平市の計画案を現実に裏付けするため、三日から一週間の予定で尼ガ崎、明石など先進地の視察に向つたがこの一行が帰郷次第、市営バス問題は新段階に入るものとして注目されている。

現在までの構想

なお平市営バス委員会の構想によると総資本金一億円は起債、融資で平市が五千万円、四市が五千万円を出資して、一台二百五十万円六十人乗り大型バス三十台を購入車庫、整備工場、停留所、待合室などを備える、しかしバス購入費は頭金二割で当初の出資金は三千八百四十万（平市二分の一）あとは三カ年で返済する計画で将来はさらに一億円を増資して現在常磐交通が石城地方で運行している六十一台と同じ六十台まで動かし、年間延五百万人をのせて五千万円の収入を目論み七年間で原価償却をしようとするもの。

また運行時間と区間は当初の計画によると午前六時から午後十時三十分までとしとくに夜間運行に重点をおき◇平—江名—小名浜◇小名浜—泉◇平—湯本—勿来◇平—水石山◇平—四倉◇平—好間◇平—小川—内郷—泉◇内郷—宮◇平—湯本◇平—赤井など主要路線三十線以上を計画、運行時間は二十分から三十分おき、また運賃も常磐交通のキロ制に対し平—内郷まで一率に十円区間としあとはキロ制と全部キロ制にして常交より約四十パーセント安い二案がある。

会社案ける 常磐期末手当

常磐炭砿労組（組合員一万名）では先に会社側に対して期末手当一人当り平均（税込み）二万円の要求をだしていたが、四日午後一時から運営協議会を開き話合つた結果会社側では同四時十分第一次回答として次の案を提出した。しかし組合側では不満としてこれを一しゆう、さらに話合いを続けているが、解決目標を七日に置き交渉を進めている。会社側回答は次のとおり

◇直接夫一万六千九十一円（二万千百円）◇坑内間接夫一万四千百六十七円（一万八千六百円）◇諸負夫一万四千五百四十九円（一万九千百円）◇坑外一般夫一万二千五百十一円（一万六千八百円）◇坑外請負夫一万四千二百九十四円（一万八千八百円）◇坑内准員二万六千五百七十六円（三万五千円）◇女子一万八千百三十四円（一万九千五百円）（カツコ要求額）

平市にボヤ

四日午後三時十五分ころ平市松ガ岡公園内で開催中の平の菊人形展示会場屋根から出火したが同屋根十坪程度を焼いただけで消し止めた。原因はろう電とみられている。

磐城市職組の臨時大会

磐城市役所職員（委員長緑川豊吉）二四〇名は四日午後一時より同市役所会議室に参集し臨時大会を開き次の議題に就いて協議検討しこれが完全実施を要望した。

①地方行政の確立、②市税の滞納一掃について、③給与の一率二、〇〇〇円ベースアップ要求④年末手当三ケ月分の要求実現⑤給与の凸凹調整要望、⑥定期昇給昇格の完全実施。

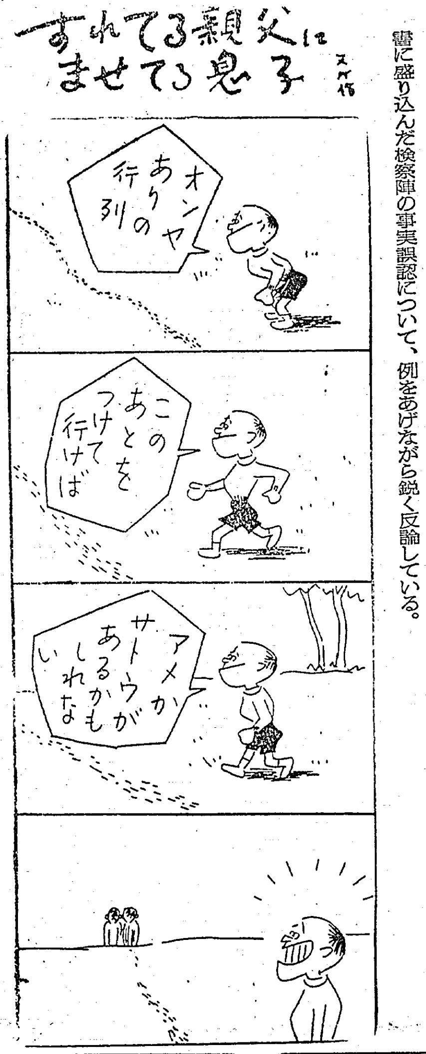
貧しい人に上げて
無名の中學生から届く

平署に四日、犯罪を犯すのも貧しいゆえです。このような人達に上げて下さいという文面に現金二百円を添えた封書が配達された。この封書には平の消印と一中学生と記されてあるだけで、同署ではこの奇特な中学生の名を調べるとともに感謝している。手紙の内容は次の通り。

「連日の新聞紙上にふとした出来心から盗みをするという青少年の取締をする警察は恐ろしい所だと思つたこともある。実際このごろは警察の人々は家出人を保護したり、前科のある青年を再生させることを知り自分事のようにうれしく思います。僕も貧しい環境にあるが、僕の家ばかりが貧しいのではない。これは少しですが炭砿地帯の貧しい人々にあげて何かの役に立てて下さい」 一中学生

検察陣の事実誤認をつく
弁護団 騒乱罪の解釈一審を支持
平事件第二日

平事件控訴審公判第二日は五日午前十時から昨日に引続き、仙台高裁籠倉裁判長係で開廷、四日行われた検察陣の控訴趣意説明に対して竹沢主任弁護人の弁論が行われているが、この日も法廷内は鈴木光雄被告ら僅かに四名の被告と定員の半分にも満たない傍聴者という静閑ぶりだが、竹沢主任弁護人は騒乱罪について第一審の解釈を全面的に支持したのち、控訴趣意書に盛り込んだ検察陣の事実誤認について、例をあげながら鋭く反論している。



才末助け合いに 十五日放送演芸会

県共同募金協とNHK共催の才末助け合い募金放送演芸会は十五日午後六時から平工講堂にNHK放送独演会のメンバーである浪曲の広沢菊春師や民謡の大西玉子さんなどを招いて催される。入場券は五十円で市内のラジオ店有名店、NHKで発売している。

これは愛の運動協議会などの後援で行つている才末助け合い募金の一環として催されるもので当日の益金はそつくり県内のきのどくな人々に贈られることになつており、市民の協力を望んでいる。なおこの催しはNHK平放送局開局十五周年記念の一環ともなつているので盛会が予想されている。

車掌と運転手に暴行 酔ぱらい土工

平署は四日平市梅ガ町土工永山陽之助(三九)を傷害現行犯で逮捕した。

同日午後五時四十分ころ飲酒のうえ夏井—平間の常磐交通バス=運転手菊田由太郎さん(三二)=に乗車車内でタバコを吸つているところを車掌の小松文子さん(一七)に「車内で煙草は吸わないで下さい」といわれたことにインネンをつけて小松さんの左ホホでタバコの火をもみ消し、さらに運転手の菊田さんに殴るけるの暴行を働き、平到着と同時に捕まつたもの。

一日所長に 呉羽工場長

職安法、失業保険法九周年を迎えた平職安では一日から十日まで雇傭促進強調旬間を行い期間中は各事業所にパンフレット、ポスターの配布、また宣伝カーによる求人開拓に馬力をかけているが、七日には高橋良磨呉羽工場長を招き一日所長を行うなど職安法の周知徹底に大童になつている。

磐城の防犯映画会日程

磐城署並防犯協会主催で年末防犯運動の一環として第四回防犯映画会を次の日程で開催する。

▼一五日（自午後六時三〇分至午後九時）小名浜漁業会▼一六日（〃）江名地区▼一七日（〃）小名浜第二小学校▼一八日（〃）泉小学校▼一九日（〃）渡辺中学校▼二〇日（〃）住吉小学校▼二一日（自午後一時至午後三時）磐城署

百余俵届く 冷害地救援米

青立ちとなり収穫皆無に近い被害を受けた川前村小白井部落など石城地方の冷害は田人、三和、遠野など各町村にまたがつて発生、山間高北部は平年の半作、平担部で二割減という二十八年当時の大冷害に次ぐ兇作に見舞れた、このため県では急救土木工事の実施などにより救農対策を講じているが、このほど県から石城経済駐在員事務室を通じて百二、五俵のカナダCAC救援米が贈られた。

なお六日午後一時から石城財務事務室会議室に郡農委連合会長福祉事務所、石城町村会長、経済室事務室らが集つて各町村の配分を決める。

五十嵐さんと松崎さん寄附

平市田町五十嵐進氏は亡父の意志により養老園に二千円、平福祉事務所に三千円、また平市新川町松崎長治右衛門氏は亡父の意志により平福祉事務所に一万円をそれぞれ寄附した。

造花専門
橋本屋
平市新川町電一九〇八

バイク免許試験を実施

常磐署交通係では十二月十五日午後零時より第一小学校々庭に於てバイク運転免許の学科、実地試験を行う受験希望者は至急申請されるよう希望している。

馬を盗む

遠野町滝字柿ノ沢生れ住居不定無職上遠野喜一(四八)は三日午後五時三十分ころ入遠野沢山地内に放牧されていた同字久保目農業佐藤栄五郎さん(三八)所有のメス馬一頭四万円相当を盗み出し、午後九時三十分ころ平市内の家畜店に売込みにいつたところを平署員に逮捕された。

武田さん寄附

平市一丁目武田健吉氏は亡妻ハナさんの意志により、四日養老園に千円を寄贈した。

天気予報

(今晩) 北西の風がやや強く晴時々曇山沿では小雪のちらつくこともある。
(明日) 北よりの風晴たり曇つたりからのちしだいに曇となる。
(海上) 今晩も明日も季節風が強くかなり風波が高いから漁船は注意を要す。

母豊田ツギ儀病気の為十二月三日午後二時三十分七十五才の高令を以つて死去致しました茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます
追つて葬送の儀は十二月六日午後二時自宅出棺惣善寺に於て仏式により相営みます
昭和三十一年十二月五日
常磐市中央通り
施主 豊田実
外 親戚一同

年末謝恩サービス
注文
紳士靴 ￥3500→3200 ￥3000→2700
婦人靴 ￥2500→2200 ￥2300→2000
◇御報参上◇
高級紳士婦人靴
シカゴ靴店
平市禰宜町電(呼)九四三

鍋ご
有樂
平市聚楽館通り電一七一三

近火御見舞御礼
春木亭 平市(公園内) 電三九〇甲
ときわ 平市古鍛冶(公園内) 電二二六
松しま 平市新町 電二三〇

近火御見舞御礼
四日午後三時二十分頃近火の際は早速おかけつけ下され消火に御尽力を賜り且つ御見舞を忝き誠に有難度ら御座居ました混雑に取まぎれ御尊名御伺ひ洩れもあること丶存じ略儀乍ら紙上を以つて御礼申上げます
昭和三十一年十二月五日
平市役所
児童遊園地

出火お詫び
昨四日午後菊人形会場より出火の際は早速御かけつけ下さいまして消火に御協力を賜わり大事に至らず鎮火いたしましたことは平消防署各消防団、平署並びに市民各位のお蔭様と深く感謝いたしております 私どもの不注意によりお騒がせいたしましたことに対しては重大な責任を感じております 甚だ失礼ながら紙上で謹んでお詫び旁々御礼を申上げます
昭和三十一年十二月五日
平の菊人形事務局

少年オツテナ 43

えと文　谷田部風太郎

オプタテシユケの雄姿

トリヤは山の中をさまよいながら、草の根をほつたり、山兎などをつかまえて腹をつなぎました。アペシュナイの部落を出てからもう二十日近くになりますから、先に出かけたムビヤンたちはもう目的地の近く迄行つているはづですだのにこの森林には弱つてしまいます。今日も日が暮れて、死のような静寂がおそつてまいりました。

トリヤはまた、今夜も野宿の用意をしなければなりません。さて、どこがいいかな？と思いながら進んで行くと、黒い樹木の間を縫つて、前方にボーツと赤い光が見えはじめました。

「火だ！ あれはたしかに火の光だ」

トリヤは不思議そうに前方を眺めました。だが、こんな山奥に部落があるはづがありませんだれが今ごろこんなところでたき火をしているのか？ チメツカのいつていた盗賊共か、それ

とも……

トリヤは注意ぶかく、足音をしのばせながら近よつて行きます。たき火はだんだん近くなりまわりをとり囲んでいる黒い人影は三人らしく、何か肉でも焼いているように、うまそうな匂がプンプンただよつてきます。トリヤの腹の虫がグーツと鳴きました。

その人等は何も口をききません。ただ黙つて肉をむしつている様子ですが、向うを向いているので顔さえわかりません。

（思いきつてもう少し近づいてみようか）

トリヤは息を殺しながら前へでました。そのときあまり緊張していたせいか、枯れ枝を踏んでしまいボキツ！という音をたててしまいました。

トリヤはギヨツ！として立止りました。だが、それより驚いたのはたき火を囲んでいた人等で、三人共いつせいに立上つてこちらをふり向きました。

「あつ、レバだつ！」

顔はよく見えませんが、一番火に近いところにいるのはレバにちがいありません。トリヤはうれしそうに駈けよりました。

「あつ、トリヤ……トリヤだつ！」

三人は一緒に声をはりあげました。レバはもう泣きごえですバラバラ走りよつて抱きついてしまいました。

「あつ、お、おまえはシアシヤクではないか？」

「おれもあとから出てきたんだ そして二人に追いついたんだ。トリヤはもう、先に行つてしまつたと思つていたよ」

「おれはまた、熊に食われたかと思つて……」

カパルスもうれしそうにいいました。

（つづく）

新しい民生委員　石城

郡内各町村ではこのほど民生委員推せん会を開き、十二月一日付で、次の通り決めた、なお各町村の委員は遠野町十五名、田人村十五名、好間村二十三名、三和村十五名、四倉町三十三名小川町十四名、川前村十一名となつている。

▽遠野町、鈴木勝世　櫛田久一　蛭田スイ　国井政雄　生田目富総次　大地毎　折笠賀久　折笠健太郎　平子そう太郎　鈴木次良　永山文雄　江坂正高　鈴木清三郎　蛭田勘一　遠藤平吉

▽田人村　小野勝彌　真原春道　緑川吉三郎　油座好男　逸見定夫　緑川鉄太郎　大橋博太郎　斎藤正文　緑川正一　蛭田キミ　芳賀武　蛭田吉左エ門　鈴木真一　国井シモ　緑川イク

▽好間村、志賀武彌　大平忠孝　渋川義之　稲葉八寿三　金成眞吾　斎藤好一　中山安美　佐藤義則　木田農雄　大和田重正　遠藤信彌　根内利平　勝沼国衛　高木金之助　高木源一郎　遠藤豊美　山本幸吉　佐久間利光　福井末吉　阿部力衛　長谷川亀雄　菅波栄　西蓮寺勇

▽三和村、永山長重　吉田仲次　内藤右京　松崎与三郎　仲居一雄　鈴木定美　松崎末男　鷺谷清忠　鈴木豊太郎　佐藤隆丸　草野義孝　加藤直善　永山カツノ　鷺谷ハルヨ　田子ナミ

▽長谷川徳次郎　花沢賢有　小湊イセ　阿部藤吉　杉本亀吉　佐藤ユキエ　佐藤芳之助　佐藤辰之助　橋本ムメヨ　浜田幸次郎　豊田良子　通野カツ　若松リセ　籠崎忠衛　高木林平　根本栄吉　山内政衛　渡辺久太郎　仲野喜一　古市幸三郎　酒井銀平　片寄水定　鈴木平次　高木政隆　根本寿男　木村埋吉　西山清敏　今田伊一　高木安之助　長谷川新吾　吉田英武　小野善太郎　佐藤金重

◇小川町　猪狩武寿　松本松哉　村上房吉　吉田忠五郎　高木久子　藤本周栄　鈴木スイ子　大平みどり　松本隠　田久喜一　鈴木誠一　草野よし子　渡辺邦弘　若松一郎　中島ヨウ　松本千カ子　宇田川姿子　小松秋尾　遠藤深勇　吉田米彌

◇川前村　新妻文次郎　宇佐見隼人　会田忠一郎　田中武吉　大越貞雄　佐藤治助　宇佐自治助　佐藤祐次　松本吉三　猪狩春一　根本一

家具の　あるが　平銀座四丁目　電三一三

今晩のラジオ

◆NHK（第一）
六、〇五　子供の時間
六、二五　七つの誓い
六、四〇　スポーツ便り
七、三〇　貴方は仕事を求めている
八、〇〇　放送演芸会
九、一五　連続浪花節
九、三〇　ヘルシヤー特別演奏会
一〇、一五　連続放送劇
一〇、三〇　幸福を拾つた話

◆ラジオ福島
六、〇五　トニーの童話
六、一五　イヴニングコンサート
六、三五　どくろ銭
六、四〇　鞍馬天狗
七、一〇　録音ニュース
七、一五　人情夜話
七、三〇　演芸甘辛亭
八、〇〇　素人物まねコンクール
八、三〇　浪曲忠臣蔵
八、四〇　キツコーツルアワー
九、〇〇　明色アベツク歌合戦
九、三〇　玉川勝太郎曲集
一〇、〇〇　オリンピツクアワー
一〇、一五　夜の調べ

今晩の映画

▼世界館　十一日マデ
六、四一　波止場の王者
八、二三　四十八才の抵抗
▼ひかり座　十日マデ
六、三三　大湖沼
八、一九　黒い天幕
▼聚楽館　八日マデ
七、〇〇　情無用の街
八、三五　カルフオルニヤ
▼平館　十一日マデ
七、一〇　別れの一本杉
八、四〇　太陽とバラ
▼民劇　十一日マデ
七、〇五　天上大風
八、四一　流れる
▼東映劇場　十一日マデ
七、一〇　孫悟空（一部）
八、三六　白馬の密使

会長に諸橋市長
平防犯協会きのう発足

各種犯罪を未然に防止するとともに青少年の健全な育成を図り、明るい平市を建設しようという主旨のもとに大泉市議長、山崎会議所会頭、岡田消防団長などが発起人となり「平市防犯協会」を結成することになつたが、その創立総会がきのう四日午前九時から平市公会堂日本間で大泉議長、山崎会頭岡田消防団長、橋本校外生活指導連盟理事長、飲食業、旅館業、料理店、学校、平署などの代表者約百名が集まつて開かれ、会長に諸橋市長を決めたほか次の役員をそれぞれ決めて強力な運動を展開することになつた。

この防犯協会は県内では各市町村ともに結成されているが、平市だけがなかつたものである。事業としては◇市内の自警並に家庭防犯の指導◇防犯思想の普及宣伝◇青少年の不良化防止◇問題少年の保護善導◇捜査機関に対する積極的協力◇防犯施設及び器具の設置普及◇犯罪者更正の指導協力◇防犯功労者の表彰◇その他防犯上必要と認める事項などである。役員と三月までの行事計画は次の通り。

◇会長、諸橋久太郎、◇副会長、大泉信雄、山崎賢助、岡田政次郎◇常任理事、鈴木寅次郎、藤倉武雄、橋本憲司、井上貞次郎、野崎満蔵、鈴木武雄、鈴木信雄、金子松男、坂野幸一、大村一郎、武藤一義、島田勝吉、草野四郎、佐藤源吉、坂本昌蔵、白石忠、橋本熙佐藤晟、遠藤幸一郎、鈴木章、強口唯七郎、木村淳、上甕久翁、塩儀助、木村十一、田中力、大和田喜宗、志賀重右エ門、鈴木政松、片寄周平、大谷伝長、水竹伊之助長谷川政、片寄保、阿部康雄、内木宗八、鈴木正男、安達新一、白土喜伯、猪狩徳次、鈴木勝雄、渡辺登、櫛田尊一、関原新一郎、鳥海菊五郎、石崎茂、片寄タケ子、柴田弘一、大竹亘、大谷武雄、遠藤菊次郎、芳賀正義、熊谷保高、金成章、阿部伝六、◇監事、根本益利、長谷川常吉。

◆行事計画、◇十二月＝市内夜警の実施、防犯映画の巡回上映立看板、横断幕、ポスター等の掲示、市内街頭指導宣伝、講演講話、座談会等の開催、印刷物発行、青少年街頭補導の実施、才末交通安全運動◇一月＝年始防犯警戒の実施、旧年末防犯警戒の実施で行事内容は十二月と同じ◇二月＝旧年始防犯警戒の実施、少年柔剣道大会◇三月＝明年度予算編成の準備、表彰者の審査、防犯功労者表彰、善行者表彰、善行少年の表彰、卒業就職及進学等変動時期における青少年不良化防止運動の実施。

冬休み対策協議
平市の校外補導連盟

冬休みを明るく意義あるものにしようと平市校外生活指導連盟＝理事長橋本憲司氏＝では八日午後一時から磐女高に於て市内各学校、PTA、青少年保護育成関係者が集つて「児童生徒の冬休み生活懇談会」を開くことになつた。討議事項は次の通り。

▽第一部（小学校）＝「冬休みの暮し方をどうしたらよいか」▽第二部（中学校）＝「冬休みの暮し方をどうしたらよいか」▽第三部（高校）＝「生徒が冬休みに是非しなければならないことは何か」▽第四部（各校PTA、青少年保護育成関係者、有識者）＝「この冬休みを児童生徒にどう過させたらよいか」

鈴木ミシン商会　平市五丁目　電一〇九八

クリーニング　洗張・防水　小松崎　平館前　電1343

銘菓　[illegible]　平凡

女店員募集
一、珠算と洋裁の心得のある方
一、年令二十五才迄（汽車通も可）
一、自筆履歴書を持参の事
一、面接日は（十二月十一日十二日）
エビスヤ洋装店　平市駅前大通り　電四三八

皆様の宴會場
御一人前200円より
銀座　酒喜庵　電171

カレンダーは急ぎましよう
◇御注文受承ります御報参上
サトー廣告社　平市田町二五　電一七九〇

クリスマス装飾プレゼント用品
高級電気玩具 其の他各種豊富
森下玩具店　平市二丁目　電六〇二

募集　男子店員20才まで　履歴書要細面談
古山電氣

なべ類各種　百五十円より
よせなべ　ちりなべ　たいなべ
特製　しるこ　ぜんざい　四〇円　五〇円
夜間営業いたしております
出前迅速
大衆食堂　さかえ　平市駅前　電九八八

平けいりん
發走11時　小雨決行
11月　前節8日9日10日　後節15日16日17日
場外車券売場
福島市・郡山市
若松市・平市大町
主催　平市